

宇治市環境保全審議会議事録

会議名	平成 30 年度第 1 回宇治市環境保全審議会
日時	平成 30 年 9 月 11 日（火） 午前 10 時 00 分～午前 11 時 30 分
場所	宇治市役所 8 階 大会議室
出席者	<p>委員 渡辺委員 岡本委員 松良委員 山田委員 斉藤委員 吉田委員 多田委員 鳥居委員 魚住委員 松本委員 森野委員（代理）</p> <p>宇治市 宇野副市長（職務により途中退席）</p> <p>（事務局）澤畑市民環境部担当部長 井澤同部副部長 北岡環境企画課長 吉岡同課副課長 小野同課環境企画係長 柴田同課主査 田中同課主任 中谷同課嘱託職員</p> <p>傍聴者 0 名（記者 1 名）</p>
1	開会
2	<p>委嘱状交付</p> <p>宇治市環境保全審議会委員の任期満了に伴い、平成 30 年 9 月 1 日より 2 年間の任期で新たに委嘱を行った。</p>
3	副市長挨拶
4	<p>正副会長互選</p> <p>「宇治市環境保全審議会規則」第 4 条第 1 項の規定により、互選により会長に松良委員、副会長に斉藤委員が選出された。</p>
5	正副会長挨拶
6	<p>報告事項（要旨）</p> <p>(1) 宇治市環境保全審議会の沿革について 事務局より、資料 1 「環境保全審議会の沿革」についての説明を行った。</p> <p>(2) 宇治市の環境施策について 事務局より、資料 2 「宇治市の環境施策について【1】地峡温暖化対策【2】生活環境における取組 1. 野蜂対策」の説明を行った。</p> <p>(3) イエローチョーク作戦について 事務局より、資料 2 「宇治市の環境施策について【2】生活環境における取組 2. イエローチョーク作戦」の説明を行った。</p>

質疑応答（発言要旨）

（委員）環境保全計画、地域推進計画について資料を読んできたが、ほぼ全ての内容で、頷きながら、そうだったのか、と重大さを考えさせられた。

市議会において、市職員のCO₂削減の取組みの報告も受けているし、イエローチョーク作戦も、自分の地域でも一市民として取り組んだ。

一方で今年度予算では、環境保全関連の予算がのきなみ削減されている。温暖化対策費や、緑のカーテン推進、エコファミリー、緑化、浄化槽設置や太陽光発電補助金、雨水タンクの設置補助やごみ減量化対策費も削減されている。

現場職員の取組みや手立てはきめ細かくされている一方で、予算削減による市民への影響について、市の考えをお聞きしたい。

（事務局）財政健全化推進プランを策定し、市全体で予算の見直しを行っており、環境企画課が所管する部分の予算についても減少しています。しかし、例えば施設の電気使用量削減につながる照明のLED化については、温暖化対策につながるものでありますが、環境関連の予算ではなく、施設管理費として配分されています。

環境企画課分の予算削減については、必要なものは確保に取組みたいと考えていますが、一方では（他の予算に組み込まれている）市全体の環境関連予算については、実態に応じた事業規模、予算規模を掌握できるように今後検討したいと考えているところです。

（委員）環境問題については、市民としても取組みたい。e c o ット宇治が市役所ロビーでやっている相談所で家庭での省エネの説明を受けたり、水車プロジェクトも報道で見たが、昔からの景観を取り戻す取組み、一市民として参加したいと考えているので、市の方からもアドバイスをよろしくお願ひしたい。

（委員）昆虫生態学を専門に研究しているので、スズメバチトラップについて、少し個人的に意見を申し上げたい。

トラップ自体は、閉鎖環境の中では効果があるものであるが、野外の自然環境において捕殺しても氷山の一角であり、多く捕まえたように思うが、実際には自己満足のようなもので、捕殺効果は低いと思う。

また、スズメバチやアシナガバチは、蛾の幼虫などを餌としており、害虫の天敵を一所懸命駆除していることにもなる。危険性ととも、こういったことも考えいつてほしいと思う。

7 その他連絡事項等について

（事務局）事務局より、以下の連絡がなされた。

- ・配付された宇治市環境保全審議会委員名簿は、ホームページ等で公開予定。

宇治市環境保全審議会議事録

(会長) 会長より、以下の連絡がなされた。

- ・議事録の作成は、事務局がおこなう。
- ・内容の精査は、会長がおこなう。

8 閉会挨拶（市民環境部担当部長）

9 閉会